

## (2) 館の管理業務

### 1) 開館日及び人員配置

土曜日、日曜日及び国民の祝日(昭和23年7月20日法律第178号に定める国民の祝日をいう。)及び市が指定する平日(3日程度)において館を開館した。但し、12月29日から1月3日までと臨時休館日を除くものとした。

開館日には管理及び展示解説を行う解説員を設置し、情報館の開館日及び解説員スケジュールをホームページで公開した。

開館日及び解説員スケジュールを資料編に示す。

## 2) 消防計画

館の安全管理の一環として、消防訓練に参加するとともに緊急時の連絡体制を構築した。消防訓練の実施日程を表5-2-1に示す。

表5-2-1 消防訓練の実施日程

日時	実施内容	参加者
令和4年11月28日(水) 午前10時～午後10時	消防訓練(1回目)	調布市, わかば事業所, 染地ふれあいの家, セルコ
令和5年3月23日(木) 午前10時～午前11時	消防訓練(2回目)	調布市, わかば事業所, セルコ

消防訓練では、各施設においての避難経路の確認、消火器や非常ベルの確認、災害時に想定される問題点の確認を行った。

消防訓練の実施状況を写5-2-1に示す。



消防訓練(1回目)



消防訓練(2回目)

写5-2-1 消防訓練の実施状況

### (3) 広報誌作成支援業務

広報誌の編集作業を年4回（うち1回は小・中学生向け）行う。内容は、四季に合わせた調布の自然環境や出来事、市の環境に関する取組を掲載した。

用紙サイズはA3，両面印刷（二つ折り）とし、印刷費用は委託者が負担する。

作成した広報誌のデータを図5-3-1～5-3-16に示す。

ちょうふ環境にゆ〜す

# 未来へつなぐ調布の環境

2022年8月  
第47号

刊行物登録番号  
2022-91

発行：調布市環境部環境政策課  
連絡先：電話 042-481-7086・7（直通） FAX 042-481-7550  
email kanky@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています(トップページ「まちづくり・環境」からご覧ください)。



## オンラインによる夜の昆虫観察会 ～おうちで夜の昆虫の世界をのぞいてみよう～ 活動報告

開設10周年を迎えた都立神代植物公園植物多様性センターとのコラボ企画。7月30日(土)午後7時から8時に、普段は入ることができない開園後の都立神代植物公園植物多様性センターで、オンライン(Zoom)にて、夜に活動する昆虫類の調査・解説の様子をライブ配信しました。光に集まる昆虫類を捕獲する「ライトトラップ法」という手法を使い、捕獲できた昆虫類の解説を行いました。当日は約100人の参加があり、視聴者からの質問コーナーでは、「カブトムシやクワガタのオスはメスより集まりにくいのか<sup>※1</sup>」や「カマキリは夜に集まらないのか<sup>※2</sup>」などの質問が寄せられ、講師が解説を行いました。当日の様子はYouTubeで視聴可能です。また、質問コーナーの質問・回答の一覧は調布市HPから確認できます。

※1 オスもメスと同じくらい光に集まります。ただし、オスの方が昆虫採集による人気が高く、とられてしまうことが多いことから、メスの方が

残ることが多いです。  
※2 カマキリは、目が良く、動くものを見つけて捕まえます。そのため、暗くなって獲物が見えなくなる夜はあまり活動していません。ただし、ライトトラップの近くにいた場合は、その明るさで目が見えるため、集まってきた虫を食べに来ることもあります。



イベント当日の様子



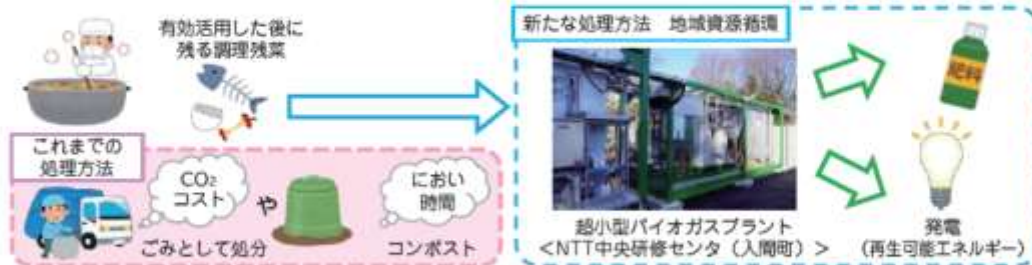
イベントの告知チラシ

## 超小型バイオガスプラントを活用した地域資源循環の実証実験について お知らせ

調布市は、食育推進基本計画(平成30年4月)に基づき、学校や保育園等の子ども関連施設や地域コミュニティにおける食に関するイベント等の食育の取組を推進しています。NTT東日本グループでは、市内に立地するNTT中央研修センターにおいて、残菜などから再生可能エネルギーや液肥を創出できる、超小型のバイオガスプラントを導入し、実証実験を行っています。

この度、調布市における更なる食育の推進を目的に、

超小型バイオガスプラントを活用した資源循環モデルを学ぶ取組を進めることとなり、6月23日、調布市立深大寺小学校の児童が、NTT中央研修センターやバイオガスプラントの見学などを実施しました。当日は、給食の調理残菜をバイオガスプラントで処理する様子を見学したり、処理する過程で作られた液体肥料を植物に与えたりしました。



バイオガスプラントの概要

図5-3-1 ちょうふ環境にゆ〜す2022年8月第47号(1)



## 深大寺・佐須地域の公有地を活用した環境学習

活動報告

市では、深大寺・佐須地域で市が公有化した土地を、里山や農に触れ合える体験型の環境教育の場として活用しており、この取組の一環として、5月22日（日）に田植え体験を実施しました。市報などで参加希望の方を募り、抽選の結果、43人の方々に参加いただきました。参加いただいた方々からは「是非、来年も子どもと

一緒に参加したい」といった声や、「泥の中がこんなに気持ち良いとは思わなかった」といった声も聞かれ、ご家族で楽しんでいる光景が印象的でした。

今年の秋には、育てた稲の収穫イベントを開催する予定です。開催日程等が決まり次第、市報ちょうふ等でお知らせします。



田植え体験の様子

## 政府から節電要請が出されています

お知らせ

今夏の電力需給の厳しい見通しを受け、9月30日までを期間として、「2022年度夏季の省エネ・節電へのご協力をお願いします」が政府から出されています。

照明、冷蔵庫、エアコン、テレビが家庭における電気使用量の約6割を占めています。（家庭の省エネハンドブック2022より）

夏は日中の電力需要が非常に多く、中でも電力消費の半分以上を占めているのが、冷房用のエネルギーです。

熱中症に十分注意しつつ、冷房時の室温については28℃を目安に設定、フィルター掃除をするなどして、冷房効果を上げながら無理のない範囲での節電をお願いします。

**家庭でできる節電方法**

- 照明**：不要な照明を、できるだけ早めに消す
- エアコン**：設定温度を下げすぎない
- 冷蔵庫**：長時間使わない機器は、コンセントからプラグを抜く
- テレビ**：省エネモードに設定、画面の明るさを下げ、必要な時以外は消す
- 洗濯機**：設定を「強」から「中」に変える

**エアコンの冷房効果を上げるポイント**

- ① 親風機を併用する
- ② 室外機のまわりに物を置かない
- ③ フィルターを月に1〜2回掃除する



ダウンロードはこちら

※家庭の省エネハンドブック2022年度版には、様々な「省エネの事例」や「家計のオトク」のヒントが掲載されていますので、ぜひご覧ください。

## 太陽光発電設備等取付け等補助（よりよい住まいづくり応援制度）

お知らせ

「よりよい住まいづくり応援制度」とは、調布市民の皆様の居住環境を向上させるため、安全で快適な住まいの確保を応援する制度です。

太陽光発電設備等取付け等補助は、この制度の一つで、環境負荷の軽減と意識の向上を図ることを目的とした次の工事に要した費用の一部を補助しています。

### ■補助対象工事と補助内容

- (1) 太陽光発電設備取付け（太陽光発電設備の設置工事等）  
公称最大出力1kw当たり2万5,000円に相当する額で、上限は10万円（1,000円未満切り捨て）

- ※公称最大出力に1kw未満の増設があるときは小数点第3位を切り捨てた出力が対象  
(2) 太陽熱利用機器取付け（太陽熱利用機器の設置工事等）  
補助対象工事経費の10%に相当する額で、上限は10万円（1,000円未満切り捨て）

- 対象住宅  
市内の個人住宅及び併用住宅（新築も可）  
※12月28日で受付終了（予算に限りがあるため、締切前に終了する場合があります）。

■問合せ  
住宅課住宅支援係 042-481-7545



詳細はこちら

## 調布市いきものフォトコンテスト 2022 作品募集 ～感じよう！生物多様性～ お知らせ

「調布市いきものフォトコンテスト」は、市内の自然環境の再発見と生物多様性への理解を深めることを目的として、多摩川自然情報館を開館した平成 22 年から毎年開催しています。昨年度は、調布市内の多摩川に生息する野生生物を募集対象とした「多摩川部門」と、調布市内の多摩川以外に生息する野生生物を募集対象とした「市内部門」の 2 部門で作品募集を行いました。多摩川部門では 19 点、市内部門では 46 点、合計 65 点の応募をいただき、その中から受賞作品 10 点を決定しました。

13 回目となる本年度も、多摩川や里山など、市内に生息・生育す



応募方法はこ  
らから



令和 3 年度【多摩川部門】  
多摩川自然情報館大賞「白鷺高需求法図」



令和 3 年度【市内部門】  
多摩川自然情報館大賞「水鏡」

## 雨水浸透ます設置

お知らせ

局地的な豪雨対策と豊かな湧水のために雨水浸透ます設置にご協力ください

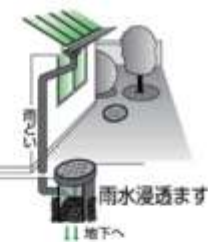
雨水浸透ますとは、屋根に降った雨水を雨どいを通して集め、地下に浸透させるための設備です。これまで下水道に流していた雨水を地中に浸透させることで、局地的な豪雨などの大雨時の浸水被害を軽減するとともに、湧水の復活、保全につなげます。植物や魚などの生き物の生息環境を守るためにも、雨水浸透ますの設置にご協力ください。

対象は市内の既存住宅と個人所有の共同住宅で、設置にあたっては、設置可否の下見を行います。設置工事は

半日～1日程度。設置後の所有及び管理は住宅所有者となります。

【設置費用／無料】

お申込み・問合せは、直接  
または電話、FAX、Eメール  
で環境政策課へ



雨水浸透ますの設置の様子

## コラム 夏の多摩川

今年の夏は、30℃以上の暑い日が続いています。多摩川の水際は木陰もなく、水面や地面からの照り返しで暑さは尋常ではありません。水の中も例外ではなく、普段は涼しい水中も、浅いところでは 25℃をこえる温水プール並みです。

そんな、今年の夏の多摩川ですが、暑さにも負けず、魚たちは元気に泳いでいました。夏の多摩川自然情報館の月別イベントでは、アユをはじめ、タモロコやオイカワ、スゴモロコ、ヌマチチブなどさまざまな魚を確認しました。

さらに、こんな気候の中で、特定外来生物のコクチバスがとれたのはびっくり。本来コクチバスは、冷水性の魚ですが、だんだん、日本の暑さに慣れてきたのかも・・・。



投網を使って採取する様子



## 持続可能な開発目標SDGsについてのリーフレットを発行 お知らせ

持続可能な開発目標 SDGs は、2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の目標で、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すためのものです。

環境問題をはじめ、世界にはたくさんの課題があります。このリーフレットでは、小学校5年生から中学生を対象に、SDGsについて私たちができることを紹介しています。17の目標のうち、目標13には気候変動対策があります。気候変動は、私たちの食べ物や健康、自然災害にも影響する問題です。地球温暖化の進行による気候危機を防ぐために、できることを少しずつ実践してみましょう。市役所環境政策課の窓口、多摩川自然情報館で配布しています。調布市 HP（右記 QR コードからアクセス可）では PDF データでダウンロードできます。



ダウンロードは  
こちらから



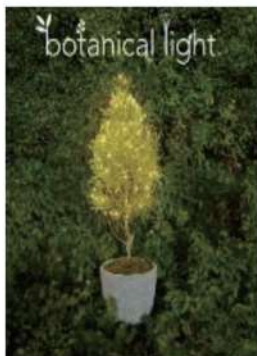
SDGs パンフレット

## ボタニカルライトキャラバン お知らせ

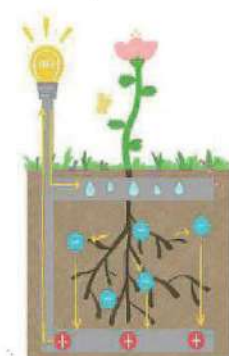
ボタニカルライトキャラバンは、令和4年3月26日（土）に開催された世界的ライトダウンイベント「Earth Hour」にあわせ、デニーズ調布店の点灯イベントを起点として、市内の公共施設等6箇所においてボタニカルライトを展示し、地球温暖化をはじめとした環境問題の啓発、市民の環境意識

の醸成を図ることを目的として実施したイベントです。

調布市は、一般社団法人サステナブルコミュニティ共創機構が実施するこの取組を後援しました。イベント後のボタニカルライトは、調布駅前広場暫定公衆トイレ前に常設しています。



発光しているボタニカルライト



ボタニカルライト発電イメージ

### ～ボタニカルライトとは～

「ボタニカルライト」は、植物の成長エネルギーにより点灯する環境負荷のない新しい照明です。

植物は土壌に含まれる有機物と微生物が分解して吸収しやすくした栄養で生きています。ボタニカルライトは、その微生物が有機物を吸収する際に放出する電子を利用して発電しています。発電の際に排出されるものは水のみで、その水はまた植物に吸収されるという、循環型のクリーンなエネルギーです。電源がなくても植物が元気に育つ環境があれば電力を得ることができる未来のエネルギーです。

## 第50回調布市環境フェアを開催します お知らせ

令和4年10月22日（土）午前10時から、市役所前庭において3年振りに環境フェアを開催します。

調布市環境フェアは、環境保全への関心と理解を深める場として、環境活動団体、環境活動に取り組む事業所等が、環境活動概要の展示や環境物品等の展示・販売等を行います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

開催内容などの詳細は、後日市報や市ホームページでお知らせします。



ゴヤたん



完熟ゴヤたん

ちょうふ環境にゆ〜す

# 未来へつなぐ調布の環境

発行：調布市環境部環境政策課

連絡先：電話 042-481-7086・7（直通） FAX 042-481-7550  
email kankyuu@city.chofu.lg.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています（トップページ「まちづくり・環境」からご覧ください）。



2022年12月  
第48号

刊行物登録番号  
2022-133

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



## 第50回調布市環境フェアを開催しました **お知らせ**

10月22日（土）に調布市役所前庭広場において、3年振りに調布市環境フェアを開催しました。

環境フェアは、各団体・事業者・行政等が環境に関する情報を発信し、来場される方々の環境問題への関心や

環境意識を深める目的から開催し、今年で節目の50回目を迎えました。今年度は合計27団体の出展にて、延べ約3,500人もの方にご来場いただきました。ご来場ありがとうございました。



イベント当日の様子



告知ポスター

### 相互連携協定の締結の実施

開会式後に、調布市とユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社による「地球を守るための市民率先行動に繋げる連携協定書」の締結式を行いました。

今後、緑の保全・活用に関して世界的に事業展開をしているユニリーバ社の企業活動の経験を調布市のフィールドで活用する予定です。



締結式の様子

### 深大寺・佐須地域の公有化した農地で収穫した有機農作物を景品とし来場者に提供

調布市では、武蔵野の面影を残す里山風景を形成している深大寺・佐須地域の自然環境を活用し、農に触れ合える自然体験型の環境教育・学習を実施しています。

当日は、会場で実施したキーワードラリーの景品として、こうした取組を通じて収穫した有機農作物（里芋・さつまいも・かぼちゃ・玄米・ハヤトウリ）などを来場者に提供しました。



キーワードラリーにご参加いただき、ありがとうございました。



キーワードラリーの景品



## 飛田給駅前・調布駅前クリーン作戦

活動報告

10月13日(木)に第4回飛田給駅前クリーン作戦、14日(金)に第11回調布駅前クリーン作戦をそれぞれ開催しました。

駅周辺の清掃活動を通して地域の交流や活性化を図ることを目的に、市民の方や、事業者の皆様と共に清掃活動を行うことで調布のまちに愛着をより持ってもらい、いただくことを目指し実施しています。

当日は、自治会や商店会、事業者の方や個人参加の方など、飛田給前は4団体33人、調布前は22団体190人と多

くの方にご参加いただきました。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。



クリーン作戦の様子

## 調布市地域猫セミナー&第5回ボランティア講習会

活動報告

10月29日(土)に調布市地域猫セミナー&第5回ボランティア講習会を国領の市民プラザあくろすで開催しました。従来は会場参加のみでしたが、今回は新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインでの同時配信も行いました。

第一部の地域猫セミナーでは講師として東京都台東区台東保健所生活衛生課愛護動物管理係長で獣医師でもある高松純子氏をお招きし、地域猫活動から見えてきた多頭飼育崩壊について地域連携による活動のお話をいただきました。第二部のボランティア講習会では地域猫ボランティアによる意見交換会を実施し、活動においてトラブルになりやすいことについて意見を交わしました。

新型コロナウイルス感染症の影響でここ数年は動画配信のみの開催であったことから久々の会場開催となりましたが、参加者同士の交流も久々に深めることもできました。

お忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございました。



ボランティア講習会のチラシ

## 都立農業高校神代農場での散策イベントを開催

活動報告

都立農業高校の神代農場(調布市深大寺南町)には、国分寺産線の緑、湧水などの良好な自然環境が維持されています。

市と同校は自然環境の保全・保護などの事業を連携して行う目的から相互連携基本協定を締結しており、10月15日(土)に神代農場内において、散策イベントを開催しました。

始めに、都立農業高校教員の宍戸先生からの挨拶の後、東京大学大学院生の白川誠様から農場内のキノコ類につ

いての講義があり、その後、農場内の散策を行いました。

見学ポイントには都立農業高校の生徒の皆さんが待機し、イベントに参加された方に分かりやすく説明をしていただきました。

参加された方からは「随所で説明があり良かった」、「様々な生き物、植物に触れ合えて良かった」、「住まいの近くにこのような自然があるとは思わなかった」などの感想をいただきました。



散策の様子



養殖場の様子



いるかな カブトムシ



## 雑木林ボランティア講座

活動報告

雑木林ボランティア講座は、調布に今も残る里山の風景や雑木林を、市民と市が協働で保全していくことを目的とし、環境活動ボランティア人材を養成する講座です。

9月17日(土)に、「雑木林の生態系(植物編)」を開催しました。

始めに、講師の雑木林保全活動団体「入間・樹林の会」の根本淳様から、都市近郊に存在する雑木林の状況やどのような植物がどの程度の面積割合で生育しているかなどを記録する「植生調査票」の記録方法などを受講し、その後、入間樹林地に移動して実際に「植生調査票」を使用して、樹木の高さや被度の調査を行いました。

参加された方からは「座学は理論的な内容

で面白かった」、「入間樹林地内には多種多様な植物が存在し、その多様性に驚いた」などの感想をいただきました。



座学の様子



植生調査票を作成する様子

## 調布市環境モニター

活動報告

調布市環境モニターは、市民と市が協働で市内の自然環境を見守り、自然環境の保全に活用していくというグループ活動です。

### 第3回クマムシってどんな生き物

9月24日(土)に駿河台大学経済経営学部の伊藤雅道教授を講師に迎え、クマムシの解説と、顕微鏡で観察を行いました。

クマムシは、コケの中などの湿った環境を好み、私たちのごく身近な環境にいる生き物です。クマムシは、周囲が乾燥すると徐々に体内の水分を放出し、体内での代謝を最小限に落とします。この状態は「乾眠」と呼ばれる仮死状態で、 $-270^{\circ}\text{C}$ の超低温、57万レントゲンのX線(人の致死量の1,000倍の相当)、1,000気圧などに耐える驚異的な能力を発します。さらに、乾眠の状態でも100年くらい生きるとも言われています。

当日は、クマムシが居そうな場所からサンプルを採取

し、底に溜まった残渣物をスポイトで取り、顕微鏡で観察しました。実際に観察できるかは運次第とのことで、先生と参加者は何度も残渣物を入れ替え、1体のクマムシを発見しました。参加者からは「透明なエビのようだ」や「こんなに動く生き物だとは思わなかった」「ずんぐり体型でかわいい」などの感想をいただきました。



顕微鏡で観察できたクマムシ

## 調布こどもエコクラブ

活動報告

調布こどもエコクラブは、河川や緑地などでの自然体験を通じて環境を学ぶ、子どもたちの環境クラブです。

### 藍染め体験

7月9日(土)に、柏野小学校北側の公有地で藍染め体験を行いました。藍の葉を刈り取って生の状態で染料にして染色する「生葉染め」という方法で行いました。葉をちぎって袋に入れ、水の中でこすって色を出します。輪ゴムとビー玉を使ってハンカチに模様を付け、水の中に入れてしばらく待つと、藍色に染めることができました。

参加された皆さんの個性があふれるハンカチができあがりました。



藍染の体験の様子

### 稲刈り体験

9月17日(土)に、柏野小学校北側の公有地で稲刈り体験を行いました。うるち米の稲をのこぎり鎌で刈り取りました。最初はうまく刈れずにいた参加者も、講師の指導のもとでだんだんコツをつかみ、たくさんの量を取ることができました。刈り取った後は、稲を束ねて干し、乾かすための「はざかけ」も体験しました。

公有地では、無農薬で栽培しているため、カエルやバッタなど多くの生き物を見ることができました。



稲刈り体験の様子

12月1日(木)から3月31日(金)まで

## 冬に省エネ・節電をお願いする期間

お知らせ

冬は、寒くなって暖房を使ったり、お風呂・お湯の温度を上げたり、日が短くなって照明を長く使ったりと、エネルギーの使用量が増加します。夏に続き、この冬の電力も、依然として厳しい見通しです。この冬の省エネルギー・節電・節ガスに、無理のない範囲でご協力をお願いします。

### 家庭でも「WARM BIZ (ウォームビズ)」に取り組もう

暖房中の室温 20℃を目途に、ライフスタイルを少し見直すことで、暖房に必要なエネルギー使用量を削減します。



### ～ WARM BIZ が推進する衣食住の具体的な取組～

省エネ対象	省エネポイント
エアコン	・20℃を目安に設定する。 ※温度を上げる前に、1枚重ね着する。ブランケットやひざ掛けなどひと工夫を。 ・月2回を目安に、フィルターを掃除する。
電気カーペット	断熱マットを敷く。
窓	厚手のカーテン（床に届く長さにする）を閉める。
冷蔵庫	設定を「弱」にする。
浴室	追いだきや自動保温をなるべくしないように、家族が続けて入る。

※東京都では、エネルギー性能が高いエアコン、冷蔵庫、給湯器、LED照明器具に買い替えた都民へポイントを付与します。詳細は、「東京ゼロエミポイント」で検索してください。

### 省エネの基本は断熱！寒さは窓からやってきます

暖房効率を高め、暖かい空気を部屋の中から逃がさない工夫をすることが大切です。

冬は、室内の暖かさの約50%は窓から流出してしまいます。窓から寒さが入ってこない工夫をしましょう。

### 今なら高断熱窓・ドアへの改修に、東京都から補助金も

東京都「災害にも強く健康にも資する断熱・太陽光住宅普及拡大事業」

対象：高断熱窓・ドアへの改修等

補助率：助成対象経費の1/3

期間：令和7年(2025年)3月31日(月)まで

詳しくは  
コチラ



### 断熱性能がアップするとどうなる？

断熱性能の高い住宅は、築20年以上の断熱性能が低い住宅と比較し、年間の暖冷房費が70%以上安価となるとのデータもあり、高い省エネ効果が見込めます。

また、美容や健康にも良いとされ、部屋ごとの寒暖差が減ることで、入浴時や起床時の血圧上昇を抑え、心筋梗塞や脳卒中などの発症を防ぐことができます。



## 下水道を使い始めて50周年

～供用開始から今年で50年～

お知らせ

調布市の下水道事業は、昭和47年(1972年)に各家庭から下水道への接続を開始し、令和4年(2022年)に50周年を迎えました。

昭和30年(1955年)の市制施行当時、大便や尿の処理はバキューム等での吸い取りが一般的でした。しかし降雨時の排水不良による浸水が続出したり、蚊・ハエ・ドブネズミが発生したりするなどの状況の中で、下水道設置への要望が次第に高まり、度重なる整備計画の変更を経て、供用開始に至りました。

こうして現在は居住エリアではどこでも使用できるようになった下水道ですが、管の老朽化が新たな問題となっています。管の老朽化が進むと壊れて穴があき、道路が陥没するなどの事故につながってしまいます。このような問題に対処す

るため、市では壊れる前にメンテナンスを行う予防保全型の管理が行えるよう、計画的に管の状態を点検・調査し、対策工事を進めています。

これからもくらしと環境を守る下水道を維持できるよう、取組を進めてまいります。



し尿処理のバキュームカー  
昭和34年撮影



下布田辺下水道工事  
昭和38年撮影

## 湧水調査

お知らせ

調布市における生物多様性保全、自然環境保全等の環境施策を推進することを目的に、市内の配慮すべき環境資源の実地調査となる「湧水調査」を数年毎に実施しています。今回は平成30年度以来4年ぶりの調査となり、10月19日～21日に、市内54か所の地点で豊水期の調査を行いました。

調査の結果、湧水の確認地点数は、過年度の調査と比較して大きく増減しておらず、深大寺境内や都立農

業高校神代農場の周辺、府中用水、実篤公園など29か所で確認できました。来年2月には、湧水期の調査を予定しています。みんなで湧水を保全していきましょう。



実篤公園の湧水



ちょうふ環境にゆ〜す

# 未来へつなぐ調布の環境

2023年3月  
第49号

刊行物登録番号  
2022-250

発行：調布市環境部環境政策課

連絡先：電話 042-481-7086・7（直通） FAX 042-481-7550

email kankyuu@city.chofu.lg.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています(トップページ「まちづくり・環境」からご覧ください)。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



## 喫煙マナー & 地球温暖化防止啓発ポスター・標語展

お知らせ

例年市では、歩きタバコやポイ捨てをしている大人を見て感じた思いをポスターや標語に乗せた作品を応募いただき展示を行う、喫煙マナーポスター・標語展を開催しています。令和4年度は新たにポスターや標語を通じて地球規模の環境問題について考えていただくことを目的に、地球温暖化防止部門を加え、喫煙マナー部門、地球温暖化防止部門の2部門から、ポスター及び標語作品の募集・展示を実施しました。

両部門合わせて、ポスターは57点、標語は5点もの多くの応募をいただきました。

また、応募いただいた作品は、令和5年2月10日(金)

から2月16日(木)まで、調布市文化会館たづくり11階みんなの広場にて、展示しました。そして、来場者による投票及び環境政策課職員による投票の結果、下記のとおり優秀作品を決定いたしました。

多くみなさんの作品応募、またご来場をいただきましてありがとうございました。



ポスター・標語募集のチラシ



喫煙マナーポスター部門 優秀作品  
国領小学校5年生



地球温暖化防止啓発ポスター部門 優秀作品  
石原小学校3年生

喫煙マナー標語部門 優秀作品  
ペンネーム mioさん  
「つくろうよ 歩いて気持ちの  
良い街を」

地球温暖化啓発標語部門 優秀作品  
ペンネーム mioさん  
「はじめよう 一人ひとりが  
出来ること」

## コラム 調布市はゼロカーボンシティを目指しています

令和3年4月に、調布市と調布市議会は、脱炭素社会の実現に向けて「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」にする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言しました。

このたび、市民の皆さんに宣言を知っていただき、気候変動の危機意識を共有するため、市庁舎に懸垂幕、グリーンホールに横断幕を掲げました。

家電製品の使い方を見直す、食べられる量を買う、使い捨てプラ



スチックの使用をなるべく減らすなど生活のちょっとした工夫が地球温暖化防止に繋がります。



調布市グリーンホールに掲げられた横断幕

図5-3-9 ちょうふ環境にゆ〜す2023年3月第49号(1)

## 雑木林ボランティア講座

活動報告

### 第6回「市内樹林地見学バスツアー・ワークショップ」

12月3日(土)に「市内樹林地見学バスツアー・ワークショップ」を3年振りに開催しました。

貸切バスにて市内の布田産線緑地(凸凹山)、若葉町3丁目緑地及び入間町1丁目緑地を巡る見学会を行いました。各樹林地で環境保全活動を行う市民団体の方から活動の様子などの説明を受け、樹林地の維持保全の大切さを学びました。

その後、入間地域福祉センターに移動し、ちょうふ環境市民会議の方をファシリテーターに「どのような雑木林にしたい」等をテーマにしたワークショップを

行いました。

受講者の皆様からは「子どもが遊べる場所にしたい」、「落葉樹が多い場所にしたい」、「老齢木を更新したい」等、貴重なご意見をいただきました。



若葉町3丁目緑地 見学の様子



ワークショップ発表の様子

雑木林ボランティア講座は、調布に今も残る里山の風景や雑木林を、市民と市が協働で保全していくためのボランティア養成講座です。雑木林の維持管理に役立つ知識や技能を習得します。

参加者募集

市報4月5日号にて、雑木林ボランティア講座の会員を募集しますので、興味がある方はぜひお申し込みください。申込み方法などの詳細は、市報又は市ホームページをご覧ください。

- 1 日程/年6回程度 ※原則土曜日の午前10時～午後3時開催予定
- 2 対象/18歳以上の方
- 3 費用/1,500円(ボランティア保険料・テキスト代)

## 調布市環境モニター

活動報告

### 第5回賢い生き物? 迷惑者? カラスの不思議

2月26日(日)に東都大学ヒューマンケア学部 of 杉田昭栄教授を講師に迎え、神代植物公園で「第5回賢い生き物? 迷惑者? カラスの不思議」講座を開催しました。

#### カラスの知的行動

カラスは頭の良い生き物として有名です。例えば、そり遊びをしたり、滑り台で遊んだり、鉄棒の大車輪遊びを電線でする様子などが観察されています。

#### カラスは黄色が苦手ではない

ハシブトガラスは人間よりも広い波長の範囲を視認できると考えられており、人間よりも色を見分ける能力が高いそうです。人間の目は3原色ですが、カラスは紫外線を加えた4原色で

見ているそうです。参加者から「カラスが嫌がる色はあるか」という質問に対し、講師から「残念ながら嫌がる色はない。黄色のごみ袋が流行しているが、黄色自体が有効なのではなく、紫外線をカットする成分が入っているかが重要」とのことです。紫外線をカットするごみ袋は、人間には袋の中身が見えて、カラスには袋の中身が見えないため、カラスの興味がそがれるとのことでした。



講座の様子



カラスのはく製

環境モニターは、市民と市が協働で市内の自然環境を見守り、自然環境の保全に役立てていくというグループです。令和4年度は、「身の回りの毒生物」「クマムシってどんな生き物」「カラスの不思議」などの講義を通じ、自然環境への理解を深めました。

参加者募集

市報4月5日号にて、調布市環境モニターの会員を募集します。新しい内容の講座を用意して皆さんをお待ちしておりますので、自然環境の保全に興味がある方はぜひお申し込みください。

- 1 日程/年6回程度 ※原則土曜日の午前中実施予定
- 2 対象/原則18歳以上の方
- 3 無料



## 調布こどもエコクラブ

活動報告

### 第6回 火起こし体験

11月5日(土)に、柏野小学校北側の公有地で、火起こし体験を行いました。人の生活を支える大きな要素である「火」の取扱い方を学びました。

今回は、缶を二つ使い、ウッドバーニングストーブと呼ばれる火起こし道具の工作を行いました。ウッドバーニングストーブは、下から上へ空気の流れを作ることで燃焼効率が上がります。少量の小枝でもよく燃え、簡単に火種を作ることができます。

まずブリキ缶の下部分に穴を3〜4個開け、空気の通り道を作ります。次にアルミ缶の下部分と底に小さい穴を10個くらい開けたら、アルミ缶をブリキ缶の中に入れます。ストーブができたら、燃えやすい麻ひもをくずして火口を作り、ファイヤースターターで火をつけます。火がついたら小枝に火を移らせて完成です。親子で協力して火をつけることができ、皆さん充実した様子でした。



火起こし体験の様子



作ったウッドバーニングストーブ

調布こどもエコクラブは、河川や緑地などでの自然体験を通じて環境を学ぶ、子どもたちの環境クラブです。市報4月5日号にて、市内の小中学生を対象に調布こどもエコクラブの会員を募集しますので、興味がある方はぜひお申し込みください。申込み方法などの詳細は、市報又は市ホームページをご覧ください。

参加者募集

- 1 日程/年7回程度 ※土日祝日実施予定  
※田植え体験、稲刈り体験、昆虫採集、野川でガサガサなどの講座を開催する予定です。
- 2 対象/市内在住、在学の小学1年生〜中学3年生 ※小学3年生以下は要保護者同伴
- 3 費用/原則無料(内容によって材料費等の実費負担あり)

## いきものフォトコンテスト受賞作品

お知らせ

市内の自然環境の再発見と、生物多様性への理解を深める目的で、市内に生息する野生の生き物主体の写真を募集しました。

作品に決定いたしました。たくさんの応募、投票をいただき、ありがとうございました。



2022年度(令和4年度)は、多摩川部門、市内部門の2部門で募集を行ったところ、多摩川部門34点、市内部門38点、合計72点の応募をいただきました。

その他の受賞作品は市ホームページ参照

このたび、全ての応募作品を多摩川自然情報館の2階廊下に展示し、入館者の投票と専門家の評価の結果、10点を受賞



令和4年度【市内部門】  
多摩川自然情報館大賞「あしたを生きる」  
伊藤 美保子さん



令和4年度【多摩川部門】  
多摩川自然情報館大賞「夕景」  
石原 耕彦さん



# 多摩川クリーン作戦

活動報告

## 春の多摩川クリーン作戦

令和4年4月10日(日)午前8時から9時まで実施。  
1,037人の多くの皆さまが参加されました。

(回収ごみの内訳)

可燃 30 kg 不燃 200 kg  
粗大ごみ 100 kg  
ビン 28本 缶 320本  
ペットボトル 580本



春の多摩川クリーン作戦の様子

## 秋の多摩川クリーン作戦

令和4年11月13日(日)午前8時から9時まで実施。  
912人の多くの皆さまが参加されました。

(回収ごみの内訳)

可燃 130 kg 不燃 200 kg  
粗大ごみ 500 kg  
ビン 8本 缶 180本  
ペットボトル 285本



秋の多摩川クリーン作戦の様子

## 令和5年度 春の多摩川クリーン作戦

参加者募集

多くの皆様のご協力により、毎年春と秋に行う多摩川クリーン作戦も、通算で86回目となります。

市では「調布市都市美化の推進に関する条例」を平成10年4月に施行し、多摩川の河川敷を「美化推進重点地区」に指定しています。河川の環境を守り美化を推進するため、皆さん是非多摩川クリーン作戦にご参加ください。当日は、動きやすい服装でお越しください。清掃用具は市で用意します。

問合せ/環境政策課生活環境係 042-481-7087

- 1 日 時/令和5年4月9日(日)(予定) 午前8時~午前9時(少雨決行)
- 2 集合場所/○団体参加 多摩川河川敷の各地点(のぼり旗で表示)  
○個人参加 京王相模原線鉄橋下の本部(当日直接会場へ)
- 3 持 ち 物/軍手(お持ちの方)
- 4 その他/新型コロナウイルス感染症の感染状況や荒天により、中止する場合があります。中止の際には、市HPにてお知らせいたします。

# 犬を飼われる皆様へ 飼い犬の登録と狂犬病予防注射はお済みですか

お知らせ

犬の飼い主には、

- ① 現在居住している市区町村に飼い主の登録をすること。
- ② 飼い犬に年1回の狂犬病予防注射を接種させること。
- ③ 鑑札と注射済票を飼い犬に装着すること。

が法律により義務付けられています。また、飼い犬の登録内容に変更(飼い主の変更や死亡等)が生じたときも手続きをお願いします。

なお、狂犬病予防注射は毎年4月1日から6月30日までの間に接種し、注射済票の交付を受けてください。

また、4月11日から15日にかけて市内の公園等で狂犬病予防定期集合注射を実施します。詳細は市報ちょうふ3月20日号に掲載していますのでご覧ください。



## コラム 春の植物

日を追うごとに暖くなり、調布にもいよいよ春がやってきました。調布市内には、産線樹林に代表される雑木林や多摩川などの河川、人々が活動する市街地など様々な環境がありますが、それらの環境にうまく適応して育っているのがスミレの仲間です。

スミレの仲間は属名を *Viola* といいます。これはラテン語で「紫色」の意味です。

その名の通り、花が紫色をした「スミレ」は市街地の路傍で見られるほか、自然地に多く見られる花

色が少し薄めの「タチツボスミレ」や湿った場所に生える白い花の「ツボスミレ」など、様々なスミレが見られます。



スミレ



タチツボスミレ



ツボスミレ



# みらいへつなごう ～ちようふのかんきよう～

2022年度版  
2023年3月発行  
発行所：ちようふ環境センター  
2023 - 202

〒402-8521 静岡県沼津市南郷1-1-1  
 ☎ 電話：052-421-7320 (直通) FAX 052-421-7320  
 メールアドレス：kanryu@city.zhohu.lg.jp  
 ※市のホームページで最新情報を掲載しています。



この冊子は、(一)ちようふ環境センター、(二)沼津市環境センターより発行されたもので、定期的に改訂いたします。

## 調布市のみんなが力を合わせて、地球温暖化防止を成功させよう！

今、地球上では、地球温暖化の進行による気候の変化や、毎年のように大きな自然災害が発生するなど、気候変動の影響は身近な生活にまで及んでいます。将来も変わらず地球で生活していくため、私たち一人一人が、地球温暖化対策を行う必要があります。



### CO<sub>2</sub>、実は必要？でも・・・

CO<sub>2</sub>などの温暖効果ガスは、地球を暖かすための役割を担っています。

地球は、空気の層で守られていて、保温に役立ちます。CO<sub>2</sub>などの温暖効果ガスは、太陽から降り注ぐ暖かい光を返しにくくするため、太陽が当たっていない夜でも暖かくなります。

CO <sub>2</sub> の濃度	平均気温
1800年 (18ppm)	15℃
1950年 (320ppm)	15.5℃
2020年 (410ppm)	16.5℃
2050年 (680ppm)	19℃

化石燃料を燃やして、今よりもっとCO<sub>2</sub>が増えると、地球が熱帯に傾斜しているのと同じで、暖かすぎる状態になります。これが、地球温暖化です。

地球の気温が高くなると、干ばつや異常気象などの大きな自然災害が起きたり、今まで育っていた農作物がとれなくなったりします。

そのため、CO<sub>2</sub>をこれ以上増やさないことが重要ですよ。

### 身近な生活で減らしてみよう！

家の中には節電を促すさまざまな取り組みがあります。省エネ家電やLED照明など、節電効果が高い商品を取り入れましょう。

省エネ家電の導入で、CO<sub>2</sub>の削減効果が期待できます。

省エネLED照明の導入で、CO<sub>2</sub>の削減効果が期待できます。

スマートメーターの導入で、CO<sub>2</sub>の削減効果が期待できます。

図5-3-13 ちようふ環境にゆーす (小・中学生版) 2023年3月 (1)



## 下水道のはたらきについて

岡崎市では、昭和47年（1972年）から下水道が使えるようになり、令和4年（2022年）に50周年を迎えました。

下水道は普段目にみえないところにあるので馴染みないイメージを持たれがちですが、私たちの生活になくてはならない存在なのです。

トイレや洗面、洗濯などで使った汚れた水（このように汚れた水を汚水といいます）は、地下にある下水道管を流れて下水道処理場まで運ばれ、きれいな水にしてから再び川に流れます。

他の日本では、うちうちが汚しごみを廃棄物の処理として使っていたため、下水道は必要とされていませんでした。ところが明治時代になって、東京をはじめと

した一部の地域に多くの人々が集まり、道路や道路などがどんどんつくられるにつれて人々の集まり、大衆で行き来した汚水によって家が水浸しになるなどの被害がでたり、溜まった汚水が原因でコレラなどの伝染病がはやりやすくなるようになってしまいました。

そこで、明治時代に汚水を流すための革新的な下水道が衛生の神様のおかげでつくられました。

下水道が今のようにならないうちまで、工場などからの汚水が直接川に流れており、川や海の水は汚れた状態で使われていました。今では、下水道が整備されて、昔と比べて汚水がきれいになりました。これからも下水道は、きれいな自然とみなさんの健康をまもっていきます！



しあわせのワグネル



下水道工事の様子



岡崎市が作成した下水道運行パンフレットの紙片

## 水循環とは？

地球上の水は、海水や川の水として常に同じ場所に集まっているのではなく、太陽のエネルギーによって海水や川の水が蒸発し、上空で雲になり、やがて雨や雪になって地上に降り、それが次第に集まり川となって海に流れるというように、絶えず循環しています。これを「水循環」といいます。

飲み水や洗濯など私たちが毎日使っている水は、雨や雪として大地に降り、川となって流れて集まったもので、使った水はまた流れて海に流れ込んでいます。また、私たちは水を利用するだけでなく、美しい水の景観に親やせたり、水辺の自然とのふれあいによって豊かな心を育んだり、さまざまな水から恩恵を受けています。

この水循環が崩れると、洪水や水不足、水質の悪化など様々なトラブルが起ってしまいます。岡崎市では、自然の水循環を健全に保つため、川などの水辺環境をきれいに保つことや湧き水を守ることなどに取り組んでいます。

水循環について調べたり、節水を行ったり、川

をきれいにするイベントに参加したり…これからはきれいで豊かな水を思い続けるために、できることに取り組んでみませんか？



水循環の流れ

図5-3-14 ちょうふ環境にゆーす（小・中学生版）2023年3月（2）



## 環境について学んでみよう！

朝市では、みんなに朝市の環境のよさを伝え、市内の環境を大切にする気持ちの高まるような活動を行っています。その取組の一つとして、小中学生向けのイベントや活動プログラムを行って、環境について学び、考えることができるような場を作っています。

### 朝市子どもエコクラブ

同じや緑地などでの自然体験を通じて環境を学ぶ、子どもたちの環境クラブです。毎月4回で活動を展開し、卒業は即座で実施しています。

～ 2022年度開催内容～

- 第1回 田植え体験
- 第2回 製菓の体験
- 第3回 野山でおしゃべり
- 第4回 春の収穫
- 第5回 朝市での体験
- 第6回 自然観察の体験
- 第7回 自然観察の体験



### 自然観察の

水酸化ナトリウムで煮たツバキやヒイタギの葉を、ガラス瓶と紙づらを使って葉肉を取り除いて、葉肉だけを取り出します。できた葉肉を赤・黄・緑色に染めてパフ作り、オリワルの葉を作りました。

水酸化ナトリウムは強いアルカリ性で、葉肉を柔らかくしたい場合は十分に煮る必要があります。



### 主な活動の紹介

#### 田植え体験、朝市での体験

朝市小学校北側の公有地（田んぼ）で、田植え体験や朝市での体験を行いました。5月に稲の苗を平作圃場で植栽、9月には、育った稲をのこぎり鎌で刈り取りました。



#### 多摩川自然環境館の月別イベント

多摩川自然環境館では、多摩川を中心とした自然環境を学ぶイベントを、年間10回開催しています。

#### 2022年度の月別イベント

月	イベント名	対象
5月	多摩川自然環境館開館15周年記念行事	15歳以上
6月	水辺生物と水質との関係を知ろう	小学生
7月	多摩川の自然観察会	小学生
8月	・お祭り名人の巻物展覧会しよう！ ・多摩川の自然観察会	小学生～小学生
9月	多摩川子ども自然観察会	小学生～小学生
10月	多摩川自然環境館開館15周年記念行事	15歳以上
11月	多摩川子ども自然観察会	小学生～小学生
12月	自然観察会を通して、多摩川の自然環境を知ろう	15歳以上
3月	多摩川の自然環境を知ろう	小学生

魚について、魚体の観察を聞き、魚と一緒にも多摩川で魚のエビをタモ網で採集して、名前を調べました。また、採集の観察を行いました。



5月 多摩川の自然観察会

多摩川を歩いて回りながら、実態・生育する動植物について解説しました。また、多摩川で見られた秋の植物や鳥の観察を行いました。



8月 多摩川子ども自然観察会

# 調布市多摩川自然情報館に遊びに来ましたか？

調布市多摩川自然情報館は、多摩川を中心とした市内の自然環境を紹介する、子どもから大人まで楽しく学べる環境学習施設です。

館内には多摩川の魚や植物、夏虫などの展示が見られる展示室や、多摩川の二毛蟹等を再現したおもしろいプール、自然環境に関する本をそろえた学習室があります。土日祝日は観覧料がかかります。

また、情報館内のようすを360°すみずみまで撮影するバーチャルツアーを行っています。ぜひ見てください。



バーチャルツアーへ

情報館のYouTubeチャンネルも開設しました。情報館で行ったイベントのようすや市内の自然や生きもののようすを公開しています。



入口のようす。その先に学習室や展示室があるよ。



学習室のようす。どんな本が置いてあるかがわかるよ。



展示室のようす。お魚の大きさがわかるよ。



お昆虫の中のギバジの動画が見られるよ。

ツイッターでも公開してるよ！  
調布市内を中心とした自然環境に関する情報、中の人がゆるゆる〜くつぶやきます。



**調布市多摩川自然情報館**

調布市自然センター 2F  
 開館時間：午前9時～午後5時（土・日、祝日も開館しています）

【お魚・お昆虫】……  
 ・沼津産産卵魚標本館 調布市川口 2F - 3406 - 3704  
 （平日：午前10時～午後5時 30分）  
 ・沼津産産卵館 080 - 2287 - 9109  
 （土・日、祝日（年末年始を除く）：午前9時～午後5時）  
 ・調布市環境学習館 042 - 481 - 7985  
 （平日：午前9時30分～午後5時 15分）

資料閲覧室、展示室をご利用ください。（観覧料がかかります。）

●交通のご案内  
 調布駅南口バス乗り場  
 ①「沼津産卵館」行か（調45・46系統）に乗車  
 「沼津産卵」下車徒歩約2分（約0.2km）

おマスコットの魚や昆虫のキャラクター、展示室と学習室に合わせたお楽しみご賞品をご用意しています。

図5-3-16 ちょうふ環境にゆーず（小・中学生版）2023年3月（4）



#### (4) 館の運営支援業務

##### 1) 多摩川自然情報館ボランティア解説員制度の運営

養成講座を修了し、登録されているボランティア解説員の活動支援及び日程等の調整を行ったが、月別イベント等におけるボランティア解説員の参加はなかった（ただし、直前の参加キャンセルを含む）。

##### 2) 多摩川自然情報館ボランティア解説員養成講座の実施

館内の展示物の解説やイベント運営を市民と協働で行い、市内で活動する人材を育成するため、ボランティア解説員養成講座を開講した。

当初、連続する2日間で講座を行う予定だったが、受講者と調整の上、令和5年3月18日（土）の1日間は対面式の講座とし、後日テキストを熟読してもらい、テスト形式で習熟度を確認し、受講完了とする内容に変更した。

### 3) 市内中学生職場体験及び大学生インターンシップの受け入れ

#### (ア) 職場体験

当初は本年度中に3日間、調布市立調布中学校の生徒を職場体験に受入れる予定であったが、新型コロナウイルス感染予防対策のため中止となった。

#### (イ) インターンシップ

調布市了承の上、受託者で受入れた日本大学生産工学部の学生3人がインターンシップを実施した。インターンシップの実施期間を表5-4-2、インターンシップの実施状況を写5-4-1に示す。

表5-4-2 インターンシップのスケジュール

期 間	大学・学部
令和4年7月22日～8月31日のうち10日間	日本大学生産工学部



写5-4-1 インターンシップの実施状況



#### 4) 市民ニーズの把握，利用者との調整

館のイベントの内容や運営方法に対する市民ニーズの把握と来館者の客層等を把握するため、アンケート調査等を実施した。アンケート結果を資料編に示す。

#### 5) 市内環境関係市民団体等との調整・協働

##### (ア) 館で実施する催事等に関する協働

市内環境関係市民団体等と協働で動画撮影を実施し、相互に資料・情報提供を行うとともに、SNS等を通じて交流を図った。

催事等に関する協働の状況を表5-4-3に示す。

表5-4-3 催事等に関する協働の状況

日 程	団体・施設等の名称	内 容
令和4年9月29日（木）	西部公民館	公民館での講演
他複数件		

##### (イ) 他団体が主催するイベント・セミナーへの参加

令和5年2月11日（土）15時～17時にオンラインで開催された、鳥類繁殖状況調査報告会（主催：NPOバードリサーチ）において、調布市内の多摩川における鳥類の繁殖状況についてスライドを使って解説した。

#### 6) 市が実施する環境学習自然事業との連携・調整

調布水辺の楽校，調布こどもエコクラブ，調布市環境モニター及び雑木林ボランティア講座等の事業について，適宜，連携・調整を図り，市民向けのイベント開催日が同日とならないよう心がけた。

7) 神代植物公園植物多様性センター，ふじみ衛生組合内の環境学習機能との連携・調整

(ア) 施設の目的に応じたパネル制作及び展示依頼

学習室において，都立神代植物公園植物多様性センターのパネルを展示した。また，館の紹介パネルをクリーンプラザふじみ内に展示するよう，ふじみ衛生組合に依頼した。

関連施設のパネルの展示状況を写5-4-2に示す。



写5-4-2 関連施設のパネル展示状況

(イ) 相互のイベントの紹介

1階エレベーター前，学習室に設置したラックに都立神代植物公園植物多様性センターのチラシを配架し，イベント等の紹介を行った。

相互イベントの紹介を写5-4-3に示す。



写5-4-3 相互イベントの紹介

(ウ) 子ども向け及び大人向けの環境学習出前授業やイベントの状況

都立神代植物公園植物多様性センターにて打合せを行い，オンラインイベントに関する企画内容について協議した。



## 8) 市民・市民団体・事業者との協働の推進

### (ア) 常設展示

令和2年度に引き続き、調布市環境モニターで制作した多摩川の植物マップを玄関横に、ちようふ環境市民会議で作製した竹炭やエコクラフト作品を学習室に展示した。

展示状況を写5-4-4に示す。



写5-4-4 展示状況

### (イ) 市民から寄贈された鳥類等の写真

市民から寄贈された鳥類等の写真を情報館ホームページや館内に掲示する解説員スケジュール表に活用した他、情報館ブログに掲載するなどして活用した。

### (ウ) 多摩川漁業協同組合 調布支部との連携

川に入るイベントや解説員による魚とりを実施する際には、多摩川漁業協同組合 調布支部と密に連絡を取り、安全に配慮した。

「9) 学校教育との連携 (ア) 小学校の受入」のうち、令和4年10月25日(火)実施分については、多摩川漁業協同組合 調布支部及び中本賢氏と協働で企画した。

## 9) 学校教育との連携

### (ア) 小学校の受入

富士見台小学校、杉森小学校及び柏野小学校からの依頼を受け、情報館内の解説や多摩川での自然観察会等を行った。小学校の受入状況を表5-4-4、実施報告書と配布資料を資料編に示す。

表5-4-4 小学校の受入れ状況

日程	小学校名	内容	受入人数	スタッフ
令和4年6月22日(水)	富士見台小学校	植物・昆虫・鳥類・岩石観察	3年生90人 先生5人	竹内, 石川, 紺野, 浅野, 志村
令和4年10月14日(金)	杉森小学校	10月25日下見	4年生120人 先生及び保護者10人	竹内
令和4年10月25日(火)	杉森小学校	植物・動物・岩石観察	4年生120人 先生及び保護者10人	石川, 竹内, 福田, 紺野
令和5年1月25日(水)	杉森小学校	情報館のお仕事紹介	2年生20人, 先生1人	竹内
令和5年2月16日(木)	富士見台小学校	多摩川の冬鳥	3年生85人 先生3人	竹内, 浅野

### (イ) 多摩川や小学校での環境学習プログラム資料

学習指指導要領に沿った小学校の総合学習における環境学習プログラムを提供した。作成した資料を資料編に示す。



10) 団体受入れ

市の施設や自然環境に関する団体，教育機関等による依頼・要望を受け，館内見学，情報館の役割や市内の自然環境に関する質問回答，取材対応等を実施した。

団体受入れ状況を表5-4-5に示す。

表5-4-5 団体受入れ実績

日 程	内 容	団体名
令和4年4月6日（水）	フォトコン取材	J:com
令和4年4月28日（木）	館内見学	Gakkenほいくえん国領
令和4年5月10日（火）	鳥類解説，インタビュー	J:com
令和4年6月16日（木）	館内見学	いのちの楽校
令和4年7月31日（日）	館内見学，インタビュー	日本獣医生命科学大学応用生物科学部1年1人
令和4年8月22日（月）	特定外来生物の情報収集	立川大八中学校1年6人
令和4年11月27日（日）	多摩川の公害の情報収集	和光小学校
令和4年12月6日（火）	館内見学，タモ網等貸出	J:com
令和4年12月20日（火）	鳥類解説，インタビュー	NPOちょうふ市民放送局
令和5年3月25日（土）	特定外来生物の情報収集	緑ヶ丘小学校

11) 市主催・共催事業（多摩川外来植物駆除活動、年2回程度等）への協力

新型コロナウイルス感染予防対策のため、一般社団法人生物多様性保全協会が主催している「多摩川の外来植物駆除」は、一般公募せず、関係者のみで2回実施した。

実施状況を写5-4-5に、駆除した外来植物の量を表5-4-6に示す。



写5-4-5 実施状況

表5-4-6 駆除したアレチウリの量

日程	駆除した外来植物の量
令和4年6月12日（日）	6.64kg
令和4年10月2日（金）	66.8kg

12) イベント開催時以外の入館者を増やす取組

イベント開催時以外の入館者を増やす取組として、生き物の体のつくりを学習できるぬり絵、クイズ等を配架した。配架物については、来館者からの要望やアンケート結果等をもとに、年1回程度更新・追加した。今年度の取組を以下に示す。

① 双眼鏡・捕虫網・タモ網・ライフジャケット等の貸出

市民の多摩川の自然環境への理解を深めるために、双眼鏡・捕虫網・タモ網・ライフジャケット等の貸出を行った。貸出については平成27年3月に作成された規約、連名式の貸出用紙、貸出申込票を使用し、貸出する双眼鏡・捕虫網・タモ網・ライフジャケット等は受託者が用意した。

② 名前シール・ポストカード

来館者やイベント参加者に配布する、名前シールを作成した。作成した名前シール・ポストカードを図5-4-1に示す。





図5-4-1 作成した名前シール

### ③ WEBコンテンツの作成

パソコンやタブレット、スマートフォン等で閲覧できる、館内をバーチャル散策できるVRツアーを作成・公開した。

情報館2階の施設内をバーチャルで歩き回ることができ、ポップアップによる展示の解説や写真、生き物動画を楽しむことのできる内容とした。

展示物を更新した場合は、VRツアーの内容も適宜更新した。



#### 操作方法：

パソコンでは画面上でクリックしながらマウスを動かすと館内を360度見渡すことができます。

矢印をクリックすると前方に進みます。アイコンやポップアップをクリックして楽しみください。



図5-4-2 VRツアーの様子